

## 『第8回ジムカーナーティが終わりを そして来年』

○テーママは秋場所、その日は貴乃花関全勝優勝の日でした！

その日は冬とはいえ全国的に暖かい日でした。特に私達GRAジムカーナーティ会場はより暖かい空気に満ちあふれていたのです。とりわけ会場を埋めてしまった今回のパーティカラー・オレンジ色の服装の群れや、柿の群れ、などなど、パーティカラーやテーママに染まり具合は過去最高でした。そして、走りや走りのレベルも高く、参加者のスタッフとしての運営レベルも今までになく高かったのです。中でも格段に良かったのは、午後からの2ヒート目の特に午後からの運営が今までの1ヒート目よりもみんな熱の入った良い走りを見せられました。タイムトラクターの方はタイル計画にコースマシーナルの方、中間タイム測定に車両誘導の担当者、そして走りの解説者などを担当していたスタッフの方達が、とてもスムーズで余裕ある運営を行いました。私達にとってもこの事が今回のパーティで最大の収穫だったと思います。

もちろん事前にも出来る範囲で充分な打合せをメインスタッフ中心に行っていた成果が出た結果といえますし、もう8回目のパーティ開催ですから半数以上の参加者には参加経験もあるからある程度迄の運営内容は期待していました。でも初めて会う人や名前の知らない人達同士が集まって運営するイベントは、なかなかうまくいかない事は充分に経験して来ていると思います。

ところが今回の様な運営が出来たのは、参加者のジムカーナーを楽しもうとする強い熱意と積極的な協力があってのと、参加する人全員でイベントの運営にも協力して行う考え方がより浸透した結果と云えると思います。

そして、皆様方の日頃からの私達の活動へのご理解とご愛顧の賜と深く感謝しております。

○1995年はジムカーナーGP(クラフター)元年！

3年前に私達GRAが発足して活動を始めた頃は本当に細々と云う感じの活動でした。もちろん自分達の力でみんなが走れる場所が出来た喜びは強く感じていましたが、イベント開催数は年に6回程度しかなくて、初イベントへの参加者も20名程度でしかなかったのです。もちろんタイム指数も無かったし、奨学給も無く、特練も無く、他の地区の人達の交流も殆ど無かった初年度。

その頃の事から考えてみれば年間イベント数も格段に増えて、他の地区の方々との交流も盛んになった現在の状況は想像さえしていなかった程です。その上、来年は全国各地で大会をシリーズ戦で行うジムカーナーGPが開催されるなんて！本当に夢の様な事です。

車両レギュレーションや出走クラス、測定方法やペナルティーを合わせて、全国各地を同じ条件のもとみんなが転戦するシリーズ戦。そうやって今まで以上にジムカーナーの交流の輪を広げ、みんなが走り、みんなが運営し、そしてみんなでジムカーナーを楽しむ！なんて素敵で事でしょう。

こうやって私達が歩んでいる道は、より明るくより楽しめる大きなジムカーナーの未来につながっている事は間違いありません。

ジムカーナーの世界を広げる為、共に運営に力を合わせて共に未来を夢見る私達の活動に、今後とも末永くご注目願います。